

平成 29 年 2 月 13 日

鹿児島大学病院 集中治療室で  
敗血症の治療を受けた患者さんへ  
( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院 集中治療室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時は、下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 「敗血症の病態における予後予測因子の探索」

【研究機関】

鹿児島大学病院 救命救急センター

【研究責任者】

鹿児島大学病院 救命救急センター

教授 垣花 泰之

【研究の目的】

敗血症の重症度や生死と関連の深い指標を調べ、今後の診療に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

平成 27 年 7 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日までに集中治療室に入室し、敗血症と診断された患者さんのデータと残余検体を解析します。過去の診療データおよび日常検査の残余検体を解析し、重症度、予後

と関連の深い指標を調べます。解析するこれらのデータや検体は、患者さん個人を特定しうる情報（氏名や患者番号など）とは切り離されていますので、個人情報が出ることにはございません。

●対象となる患者さん

平成27年7月1日から平成28年6月30日までに、鹿児島大学病院救急・集中治療科で敗血症と診断され、敗血症の治療を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

診療録から以下の情報を利用します。

年齢、性別、病名、治療法、ICU入室期間、生存期間、重症度スコア（APACHE II スコア、SOFA スコア、DIC スコア、SIRS スコアおよびその項目）、乳酸値

保存してある残余検体を用いて、以下の項目を測定します。

FDP、プロトロンビン時間、アンチトロンビン、TAT、SF、PAI-1、HMGB1、ヒストン、cell-free DNA、プロカルシトニン、プレセプシン、インターロイキン6

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科集中治療医学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。研究費の一部には、企業等からの

寄付金が含まれますが、広く学術を振興するためのものであり、この研究を特定したものではありません。また、この研究は研究者が企業とは独立に計画・実施します。この研究に対する企業等からの資金および労務提供はありません。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院

研究責任者 救命救急センター 教授 垣花 泰之

電話 099-275-5646 FAX 099-275-5646